

駒ヶ嶽

谷内区役員会発行 [秋号]
平成 29年 9月 10日付
担当：谷内区長

崇山アジサイ谷水路完成

京都府が見学会開催

平成二十八年年度京都府豊かな森を育てる府民税を活用した崇山アジサイ谷の木製水路整備事業完成を機に京都府主催の地元見学会が開催され、大宮市民局長や区民十九人が参加し、京都府の担当職員から説明を受けました。また、今後の崇山森林公園整備のスケジュールについては、作業道整備など耳新しい話も具体的に聞かせて頂きました。その内容については、区民のみなさんに回覧した資料(崇山アジサイ谷木製水路工完成見学会)のとおりです。



この度完成した木製水路は、河床にグリ石を敷き詰め、更に転圧しているのととてもしつかりした造りとなっております。

【区長】

谷内区防災訓練に

五十九人参加

平成二十九年年度京丹後市防災訓練は、八月二十七日(日)谷内公民館にて行われ、区民五十九人が参加しました。これは区民の四人に一人が参加していただいたことになりました。



今回の訓練では、消防団の和田慎太郎班長から応急の担架づくりや止血方法について指導を受けました。また京丹後市消防の山本さんからは、AEDについての説明後、各組毎に体験していただきました。訓練終了後の質問もとても活発で、終始熱心に取り組んでいただきました。

..ちょっとお知らせ!!..

- スタッキングチェア 20却追加購入整備
- 社協会費 63,000円納付
- 大野イネ改修予算400万円 [昨年不落のため]
- 崇山枯松伐採事業に補助金交付決定 [99.8万円]
- 崇山作業道洗堀補修 [市総務課災害復旧事業]
- 府民公募2件採択
 - ・ 国道312号線新生建設先への警告板設置
 - ・ 国道312号線 糸井石材~京丹間道路側溝整備
- 畔藏・子供会館に自動火災報知機設置 [8/28]
- 秋祭では、神輿・ささばやし・楽打参加者 [新規] に対し、お祓いを受けた木札をお守りとして配布予定です。

城下力也君甲子園での大活躍、感動しました。有難うございました!!
区民代表 和田 互弘

..当面の行事予定..

- 9月20日(水) 資源ごみ回収
- 9月末日頃 若宮神社ご神木枝打ち作業
- 9月30日(土) 第7回組長会議
- 10月4日(水) 資源ごみ回収
- 10月7日(土) 秋祭り宵宮
- 10月8日(日) 秋祭り本宮
- 10月9日(月) 傘直し
- 10月18日(水) 資源ごみ回収
- 10月29日(日) 谷内区敬老会(公民館)
- 10月31日(火) 第8回組長会議
- 11月1日(水) 資源ごみ回収
- 11月15日(水) 資源ごみ回収
- 11月26日(日) 川切り作業・若宮神社雪囲
- 12月6日(水) 資源ごみ回収
- 12月13日(水) 下期区費寄せ



夏休み子供交通安全教室の開催

七月二十六日(水)午前中、谷内三坂両区児童等三十六人参加のもとで開催いたしました。

夏休み中の交通事故や犯罪に遭わないため様々な知識や護身術などの実技を学んでいただきました。

平成二十九年年度

除雪オペレーター募集

- 募集期間
九月一日から十月末日の間
- 歩行型除雪機オペレーター
- 募集人員 2人(七十歳未満)
- 連絡先 区長まで
電話 六四一三九四九

..編集後記..

涼やかな風が心地よく感じられるようになりました。新年度になって五箇月が経過する中で、京都府の治山事業・崇山森林公園整備事業も着々と進んでいます。これもこれも区民皆様のご協力のおかげと感謝している次第であります。広報紙を作成しながらそのことをかみしめています。

平穏な谷内でも様々なことがあるもので、六月には離れ猿が悪戯をしていましたが捕獲檻の設置で恐れをなして所在不明となりました。サル者は追わず。そして、この夏は特別な出来事もありました。ご存じのとおり四組の城下力也君が天理高校野球部のキャプテンとして甲子園で大活躍してくれました。「感動を有難う」と申し上げますとともに、今後の更なる精進を期待いたします。若人の活躍に我々も学ぶところがおいにあります。おおいに学ばなければ、「区

ふるさと わがまち探訪 ～大宮町谷内区～

あらたやま

岩屋寺奥の院と崇山森林公園の旅

平成 29 年 8 月 30 日午後、大宮町4人衆で京丹後市内最強のパワースポット！大宮町谷内の岩屋寺奥の院と崇山森林公園を訪ねてみました。道案内は、地元谷内区長の和田互弘さんです。奥の院は、高野山よりも古く、西暦 726 年開基の古刹「朝日山岩屋寺」を開いた行基菩薩が修行した場所とのこと。岩屋寺境内からおよそ500m。歩くこと約20分、植林の杉林から岩屋寺本座の旧跡を見ながら高僧の修行に思いを馳せてみる。旧跡からわずかに進めば紅葉林が広がり、急な山道を登り切れば苔むした巨岩や古木に囲まれた白糸の滝(写真①)が目飛び込んでくる。奥の院到着である！！。



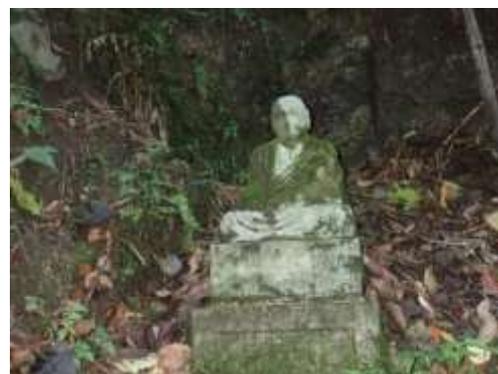
白糸の滝からの参道は急に険しくなる。苔むした岩場には参拝者の安全確保のため鎖が設けられている。この鎖を伝って這うように上っていくと、往昔行基菩薩が修行中、不動尊を感得したという影向滝(ようごうのたき)にたどり着く(写真②から③)。



ここは、まさしく「聖地」、あきらかに空気が違う。夏というのにとても涼やかだ。静寂の中に、岩上から流れ落ちる水しぶきの音が心地よく響く。

滝のしぶきを浴びるように不動明王立像と行基菩薩座像が祀られているのを目の当たりにすれば、誰しも自然と手を合わせずにいられない。

滝の名称「影向」は、「ようごう」と読み、神仏が仮の姿となって出現することを意味し、行基菩薩修行中の出来事そのものであり、まさにパワースポットというにふさわしい。



影向滝に祀られている行基菩薩座像と不動明王立像(写真③)

あらたやま

一旦、岩屋寺境内まで下山し、**崇山森林公園**(平成14年京都府整備)探訪へ！！。



写真 ④

森林公園展望広場からは、中郡平野を一望できる。今の季節、収穫前の稲穂が黄金色に輝いていた。四季折々の景色が楽しめるということである。

また、春は桜。秋は、紅葉・ナナカマド等が色鮮やかに山を染め上げてくれるそうだ。

京都府が森林公園の再整備に取り組んでおり、平成32年予定のリニューアルオープンが待ち遠しいとのこと。(写真④)。



写真 ⑤

頂上から少し下ると、牛を取って食べたという伝説の牛取り岩が現れる。岩には、食われた牛の手網や蹄の跡があるという(写真⑤)。更に下ると、杉木立の中にあじさいの谷が現れる(写真⑥)。パワースポットと森林浴の小旅行、リピーターになりそうだ。



写真 ⑥